

令和3年9月8日

一般財団法人 熊本放送文化振興財団 事務局 御中

実績報告書

代表：福嶋由記

1. 事業の名称：福嶋由記ソプラノリサイタル
2. 実施日時： 令和3年6月20日（日） 開場/13時30分 開演/14時
3. 実施場所： 熊本県立劇場コンサートホール
4. 入場料： S席 一般4,500円・学生2,500円 / A席 一般3,500円・学生1,500円
5. 事業内容： （プログラム添付有）※ソプラノ・テノール・ヴァイオリン・ピアノ
第1部 日本歌曲作品より（紫陽花・さくら横ちょう・落葉松・旅愁・五木の子守唄 等）
第2部 ロッシーニ、ベッリーニの歌曲、オペラアリアの世界
6. 関係者数：出演者4名、舞台関係6名、スタッフ15名 計25名
7. 事業成果

この度は多大なるお力添えを下さいまして、誠にありがとうございました。

心よりお礼を申し上げます。

私にとりましてコンサートホールでの演奏は中学生の頃の夢であり、これまで支えて下さいました皆様への感謝を込めたコンサートでした。コロナ禍で落ち着かない日々にも関わらず、501名のお客様がご来場下さり（コロナ感染対策で1階のみ使用で50%としました）あたたかい見守りの中、無事にコンサートを終える事が出来ました。昨年の延期公演であった今回のコンサートでは、プログラムを一部変更致しました。それは、令和2年の人吉豪雨災害がおこった事がきっかけでした。人吉・球磨・五木からのお客様も多数おられ、中にはチケットの再発行を申し出られた方もいらっしゃいました。私自身約20年のご縁があり、演奏会を開いたり、スクールコンサートやイベント等でお呼び頂いたり大変お世話になりました。災害後で大変な日々を過ごされている中、私は何もする事が出来ずに…このコンサートで恩返しの気持ちを込めて、人吉出身の犬童球溪氏の作品「旅愁」歌い継がれる「五木の子守唄」をプログラムに入れました。公演後に頂いた感想で共通していたのが、「コロナで大変な中にコンサートを開いてくださって、本当にありがとうございました。心救われました。明日からまた頑張れます」という言葉でした。1年越しの公演でその間モチベーションを保っておくことが本当に大変でした。皆様のお言葉で私自身が勇気をもらい、心救われ、あらたなスタートを切る事が出来た、感謝でいっぱいのコンサートとなりました。更に精進致します。

収入支出決算書

①収入

(単位:円)

項目	金額	説明
チケット売上収入	1,644,500	S@4,500円×305枚、A@3,500円×66枚 S大学生以下@2,500円×11枚、A大学生以下@1,500円×9枚
助成金	460,000	一般財団法人 熊本放送文化振興財団 200,000円 熊日文化スポーツ基金 100,000円 熊本県芸術文化振興会 160,000円
自己負担金	16,262	
合計	2,120,762	

②支出

(単位:円)

項目	金額	説明
謝礼・出演料	505,000	出演料 3名
賃金	55,000	当日運営スタッフ @4,500円×10名 @10,000円×1名
旅費・交通費	109,080	東京-熊本 85,820円 福岡-熊本 23,260円 *宿泊含
使用料・賃借料	336,160	ホール基本使用料 236,060円 付属設備使用料 45,560円 リハーサル会場使用料 54,540円
委託料	627,800	舞台監督55,000円 司会者22,000円 記録写真15,000円 音響・収録55,000円 ヘアメイク30,000円 ピアノ調律19,800円 衣装着付20,000円 会場装飾80,000円 衣装制作等 120,000円 楽屋スタッフ11,000円 印刷物デザイン50,000円 事務局・制作費150,000円
印刷製本費	175,772	チラシ62,570円 ポスター29,080円 チケット22,572円 プログラム61,550円
通信運搬費	62,110	案内状・お礼状・チケット送付
広告料	59,430	ぶらあぼ 26,400円 熊本シティFM 11,000円 県立劇場看板22,030円
手数料	23,898	チケット販売手数料
著作権料	26,400	音楽著作権料
飲食費	19,440	出演者・スタッフ弁当、飲物
楽譜代	6,259	
衣装代	98,230	
雑費	16,183	文具(用紙・プリンターインク・封筒 他)
合計	2,120,762	

Yuki Fukushima
福嶋由記 ソプラノ・リサイタル
Soprano recital

2021 / 6 / 20 日 開演 14:00
開場 13:30

熊本県立劇場コンサートホール

- 主 催：福嶋由記 ソプラノリサイタル実行委員会
- 後 援：公益財団法人東京二期会 熊本県文化協会 熊本日日新聞社 熊本県合唱連盟 (株)お菓子の香梅 RKK KKT KAB FM791
- 助 成：熊本放送文化振興財団 一般財団法人 熊本県芸術文化振興会

ごあいさつ

本日はご多用の中、福嶋由記ソングライターへ足をお運び下さいまして誠にありがとうございます。

昨年延期を決めしから今日まで、たくさんのお客様から厚く励ましのお電話やお手紙・メッセージが私の心の大きな支えとなっております。無事に今日という日を迎える事が出来まして感謝でございます。

ゲストには、日本を代表するプロモテール笛田博昭さんをお迎えし、あにたかく、豊かな響きの歌声をご披露頂きます。

そしてヴァイオリン奏者の原雅道さんの奏でる美しく甘い弦の音色もお楽しみ下さい。ピアノは長年ご一緒しております藤本史子さんが務めます。

皆様への感謝を大切に、舞台上に誠実に、作品に音に真摯に向き合い、今の精一杯を丁寧にお届け致します。

開催にあたりご支援ご協力を頂きました関係者のお客様に、心より深くお礼を申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

ソアラノ 福嶋由記

Program

第一部

紫陽花 / 北山冬一郎 作詞 團伊玖磨 作曲

霧と話した / 鎌田忠良 作詞 中田喜直 作曲

さくら横ちょう / 加藤周一 作詞 中田喜直 作曲

旅愁 / 犬童球溪 作詞 ジョン・オードウェイ 作曲

五木の子守唄 / 熊本県民謡

飛騨高原の早春 / 岩間 純 作詞 小林秀雄 作曲

落葉松 / 野上 彰 作詞 小林秀雄 作曲

第二部

約束 La Promessa / ロッシーニ 作曲

フィッリデの悲しき姿よ Dolente immagine di Fille mia / ベッリーニ 作曲
笛田 博昭

歌劇「愛の妙薬」第2幕より / G.ドニゼッティ 作曲
受け取って、あなたは自由よ Prendi per me

歌劇「ラ・ボエーム」より / プッチーニ 作曲

冷たき手よ Che gelida manina

私の名はミミ Mi chiamano Mimi

愛らしい乙女よ O soave fanciulla

ロドルフォ 笛田 博昭 ミミ 福嶋 由記

ヴォカリーズ Vocalise / ラフマニノフ 作曲

ヴァイオリンソロ 原 雅道

歌劇「カルメン」より / ビゼー 作曲

花の歌 Figure Skating Album

笛田 博昭

歌劇「ルサルカ」より / ドヴォルザーク 作曲

月に寄せる歌 Měsíčku na nebi hlubokém



Program Notes

紫陽花 / 北山冬一郎 作詞 團伊玖磨 作曲

作曲家團伊玖磨氏は「花の街」や「ぞうさん」歌劇「夕鶴」などを作曲。戦後、偶然手にした北山冬一郎氏の詩集「祝婚歌」から五篇（序のうた・孤独とは・ひぐらし・追悼歌・紫陽花）を選び「わがうた」を作曲しました。紫陽花は終曲に置かれています。

霧と話した / 鎌田忠良 作詞 中田喜直 作曲

とても幻想的な作品です。「霧と一緒に恋をした 見えないあなたに抱かれてた だけどそれらがかわいた時 あなたはあなたなんかじゃない 私はやっぱり泣きました…」失われた恋の心内を歌っています。

さくら横ちょう / 加藤周一 作詞 中田喜直 作曲

都会的でクールに恋の追憶を歌っています。この風景は作詞の加藤周一氏が実際にくらしした界隈を詠んでいます。満開の桜並木を見ると過ぎ去った恋、彼女の笑顔が浮かびます。もう再会することはないだろうなあ…世間話をしたところで何も始まらないのかなあ…と、桜の花びらがはらはら舞い散る中で思います。

旅愁 / 犬童球溪 作詞 ジョン・オードウェイ 作曲

熊本県人吉市生まれの犬童球溪氏が訳詞を手掛けた作品です。新潟県で音楽教師として勤務していた頃、原曲ジョン・P・オードウェイ氏の「家と母を夢見て」に出会い、遠く離れた故郷の人吉を思い心情を重ねながら訳詞をしました。1907年音楽の教科書に取り上げられ広く親しまれ、日本の歌百選にも選ばれました。

五木の子守唄 / 熊本県民謡

熊本県球磨郡五木村に伝わる子守唄で、熊本県を代表する民謡としても知られています。子守奉公に出された子供たちが、背中の赤ん坊をあやしめながら日々の暮らしと心情を歌い、子守唄として伝承されています。

飛騨高原の早春 / 岩間 純 作詞 小林秀雄 作曲

「白樺の肌温む音を 序曲に 飛騨高原の早春は五月〜」春の風景を素敵な日本語で色彩豊かに表現されており、さわやかに流れるピアノのメロディーもあいまって、小鳥のさえずりが聞こえ新緑の香りも漂ってくるような、とてもあたたかく優しい作品です。

落葉松 / 野上 彰 作詞 小林秀雄 作曲

この詩は、軽井沢の自然を愛した野上彰氏が昭和22年秋に書いた作品で、野上氏の死後、親交のあった作曲家小林秀雄氏によって昭和47年に曲がつけられました。軽井沢の秋は寂しく、雨が降る日は非常に冷え込み、そんな日に落葉松の林を一人で歩いていると…。寂しさを漂わせながらも気品があり心にしみじみ染みとります。

約束 La Promessa / ロッシーニ 作曲

私があなただを愛せなくなることがあるなんて
決して信じないで 愛しい瞳よ
たとえ戯れにでも あなたを欺いたりしません

あなただけが私の輝きだ
愛しい瞳よ 私の美しい炎なのです
私の命ある限り

フィッリデの悲しき姿 / ベッリーニ 作曲 Dolente immagine di Fille mia

私のフィッリデの悲しげな姿よ
どうしてそんなに蒼ざめて私の側に座っているのか
これ以上なにを求めめるのか。どめどもない涙を
私はこれまでお前の亡骸に注いだ。

私がああ聖なる誓いを忘れて
新たな火に燃え上がれるとでも思ったのか
フィッリデの霊よ、安らかに憩え
在りし日の情熱が消えることは無い

歌劇「愛の妙薬」第2幕より / G.ドニゼッティ 作曲

受け取って、あなたは自由よ Prendi per me
19世紀のバスク地方を舞台にした、ほのほのとした恋物語。純朴な農夫ネモリーノは村の農場主の娘アディーナにあこがれ、思い切って恋心を告白しますが、軽くあしらわれてしまいます。アディーナは「ネモリーノはとても良い人だけど、恋愛対象じゃないわ」と思っているのです。そこへインチキ薬売りが魔法の薬を持って村へあらわれます。ネモリーノは魔法の薬を使ってアディーナとの恋を実らせようと考え、購入資金をつくるために軍隊志願の書類にサインをしました。その純粋で一途な恋心を知ったアディーナはネモリーノの為に、軍隊への入隊証明書を買い戻し、「受け取って、あなたは自由よ。あなたは故郷に留まって。賢明で優しくして誠実なあなたを皆愛しているのよ」と、すっかりネモリーノに恋をしたアディーナがしおらしく美しく歌いあげます。

歌劇「ラ・ボエーム」より / プッチーニ 作曲

ロドルフォの aria ～冷たき手よ *Che gelida manina*
クリスマス・イヴの夜、パリの学生街の古いアパートで、ひっそりと咲いた若者たちの悲しくも美しい恋物語。詩人ロドルフォは友人達と屋根裏部屋で気ままな暮らしを楽しんでいます。ロドルフォが部屋で一人仕事をしていると、お針子のミミがロウソクの火を借りにやってきます。しかし気分が悪くなりたおれます。回復したミミは鍵を無くした事に気付くのです。暗闇の中鍵を探しながらロドルフォの手がミミの手に触れます。『なんて冷たい手だ。僕にあたためさせて下さい。僕は貧しくとも心豊かに、美しい夢に生きる詩人です。詩や愛の歌を歌い、幻想を追い求め、空にお城を描くことで心は億万長者です。僕の宝はあなたの二つの美しい瞳に奪われたけれど、悲しくありません、残していったのですから甘い希望を』と自己紹介をします。

ミミの aria ～私の名はミミ *Mi chiamano Mimi*

二重唱～愛らしい乙女よ *O soave fanciulla*

ロドルフォに答えてミミが自分の身の上を語ります。『みんなは私の事をミミを呼びます。でも本当の名はルチアなの。私は麻や絹に刺繍でユリやバラを咲かせます。私が好きなものは甘い魔力をもち…愛について語り…春について語り…夢について語る、詩と名付けられたもの。あなたはよくお分かりよね!』私は独りで生活をしています。小さな白い部屋で屋根や空を見えています。雪解けの季節がくると太陽は一番に私に射すの。四月の最初の口づけは私のものなの』とミミ。

そしてロドルフォが『愛らしき乙女よ白い月明りに浮かぶ美しいひと、君こそ夢に描き続けた理想の人!』と心の中の打ち震える優しい愛の喜びを歌います。「僕を愛してると言って」「愛しています!』二人は恋におちクリスマスで賑わう街へでかけていきました。

ヴォカリーズ *Vocalise* / ラフマニノフ 作曲

ヴォカリーズとは歌詞がなく母音のみで歌う歌唱法を指します。原曲はヴォカリーズ (歌曲) ですが、ピアノ独奏をはじめ、管弦楽版、ヴァイオリン、チェロ、コントラバス等の弦楽器の独奏版 (ピアノ伴奏) でも演奏されています。ロシアの音楽の特色とも言える哀愁を帯びた甘美なメロディが素敵です。

歌劇「カルメン」より / ビゼー 作曲

ドン・ホセの aria ～花の歌 *Figure Skating Album*
19世紀初めのセビリヤの町。伍長のドン・ホセは煙草工場の衛兵をしています。

美しく気の強いカルメンは、仲間の女たちと喧嘩をして牢獄に入れられるはずでした。しかし彼女を捕まえた衛兵のドン・ホセは、カルメンの誘惑に負け彼女を逃がしてしまいます。そしてその罪で自身が投獄されてしまうのです。一か月後に出てきたホセを、またカルメンが歌い踊り、誘い、悪事の道へと引き込もうとします。それでも兵営に帰ろうとするホセに、あんたはあたしのこのなんて愛していないんだわと言い、やっと釈放されカルメンに再開できたホセは、出会った日にカルメンから投げられた花を出して「牢の中でずっと花を見ておまえを思い出していた」と、愛の深さを甘く情熱的に歌います。

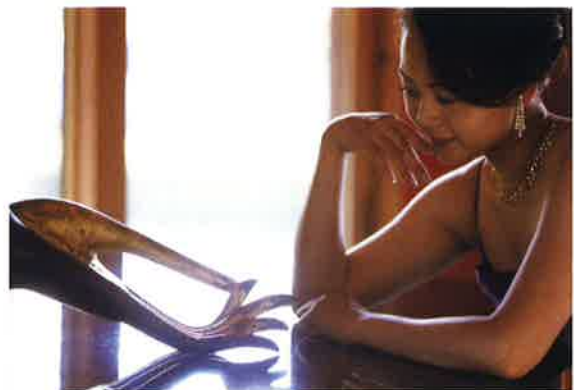
歌劇「ルサルカ」より / ドヴォルザーク 作曲

ルサルカの aria ～

月に寄せる歌 *Měsíčku na nebi hlubokém*

ドヴォルザークの美しい旋律が奏でる、水の精ルサルカの悲恋です。

人間の王子に恋をして想いに苦しむルサルカは、父なる水の精に「水の国から出ていき、人間になりたい」と打ち明けます。水の精は魔法使いを訪ねる事を提案し立ち去ります。ルサルカは一人、森を照らす月に向かい「お月様は広い世界を移ろいながら、人々の暮らしを見つめてるわね。教えて!私の愛しい人はどこの?お月様伝えて。私はあの人をいつもこの手で抱きしめているの。つかの間でも私の夢を見るように。あの人に伝えて!ここで待ってるからって。あの子の心が私の姿を見れば、きっと目を覚ましてくれるでしょう。消えないでお月様」と恋心を歌います。



©TAKENORI YAMAMOTO

Profile



ソプラノ
福嶋 由記

熊本県立熊本農業高等学校生活科卒業。熊本音楽短期大学(現:平成音楽大学)研究生声楽ソロコース修学。声楽を小田美代香、岩津整明、(故)高橋嘉子、(故)西内玲、小林なほみ、出口正子、佐久間伸一、南迪子、浜田理恵、服部容子の諸氏に師事。イタリアミラノにてリナ・ヴァスタ女史の特別レッスン受講。熊日学生音楽コンクール独唱中学の部最優秀賞。同コンクール独唱高校の部最優秀賞及び熊本市賞受賞。熊本県高等学校独唱コンクール金賞及び瀧廉太郎コンクール県代表で出場。寛仁親王杯全国童謡歌唱コンクールグランプリ大会大人部門で金賞及び寛仁親王牌受賞。旭川音楽祭第1回中田喜直記念コンクール独唱の部第1位。西日本新人演奏会にて福岡県文化協会賞、くるめ新人音楽会にて久留米音楽連盟協議会理事長賞。熊本県新人演奏会出演。平成29年度第52回熊本県文化懇話会新人賞受賞。オペラ作品「夕鶴」つう、熊本城築城400年記念オペラ「南風吹けば楠若葉」清正の娘お藤、熊本オペラ芸術協会主催「魔笛」パミーナ「おてものパッテン嫁入り」おても「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル「細川ガラシャ」ガラシャ夫人、八代演奏家協会主催「フィガロの結婚」スザンナ、グルッポ・ヴィーヴォ主催「フィガロの結婚」ケルピーノ、熊本シティオペラ協会主催「蝶々夫人」蝶々夫人「リゴレット」ジルダ「ドン・カルロ」エリザベッタ、西本智実指揮「椿姫」ヴィオレッタ「新作オペラ笛姫」笛姫「ラ・ボエーム」ミミ、沖縄オペラ協会主催「オテロ」アズデモナ等で主演。ヴェルディ、モーツァルト、フォーレ「レクイエム」ペートーヴェン「第九」でソプラノソリストをつとめる。長崎県国際音楽祭、北原白秋生誕祭、宮城道雄没後50年記念演奏会、竹田市さとうよしみ童謡祭、スペシャルオリックスセレモニー、各記念式典、開会式での国歌斉唱、熊本城築城400年祭では1年を通した春・夏・秋・冬絵巻・オープニング・カウントダウン・グランドフィナーレ出演、陸上自衛隊西部方面音楽隊、熊本県警察音楽隊との共演、年間約8~10校のスクールコンサート、CM、CD録音等、ソロ活動を行う傍ら後進の指導にもあたっている。音楽雑誌「ハンナ」に「熊本が生んだオペラの名花」として紹介された。TBS特別番組、又吉直樹「神の島行く」(世界遺産登録)~宗像大社と出光佐三~のエンディング曲担当(JAL国際線全便で放送。曲:竹口美紀 演奏Viento)熊本地震後には約20ヶ所の幼稚園や小学校、避難所等でコンサートを行った。2020年には、小中学校の音楽共通教材より13曲の歌唱・解説を担当し、番組収録を行い、全世界に配信され日本人学校等から好評を得ている。2019年二期会サマーコンサート出演。年に2~3回定期的に主催コンサートを行っている。

現在 : 東京二期会会員、熊日学生音楽コンクール審査員、NHK全国学校音楽コンクール地区予選審査員、熊本県文化懇話会会員、女声アンサンブル「DIVA」混声アンサンブル「tutti」女声アンサンブル「まめすけ」御船町童謡教室「ほほえみ」指導者

〈ゲスト〉



テノール
笹田 博昭

名古屋芸術大学卒業、同大学大学院修了。

2009年渡伊。2011年文化庁新進芸術家海外研修員として再渡伊。第37回イタリア声楽コンクールソ・イタリア大使杯受賞。第9回マダム・バタフライ世界コンクール及び第50回日伊声楽コンクールソ第1位。2012年フェッラーラ国際コンクール第1位。

藤原歌劇団での『ラ・ボエーム』ロドルフォでデビュー以降、『ラ・ジョコンダ』エンツォ、『仮面舞踏会』リカルド、『蝶々夫人』ピンカートン、『トスカ』カヴァラドッシ、『カプレーティ家とモンテッキ家』テバルド、『カルメン』ドン・ホセ、『ノルマ』ポッリオーネ、『道化師』カニオと出演を重ねている。『リゴレット』のマントヴァ公爵の好演は記憶に新しい。その他フェッラーラ市立劇場『イル・トロヴァトーレ』、日中国交正常化35周年記念・第9回上海国際芸術祭公演『蝶々夫人』や『椿姫』『トスカ』『マクベス』『ドン・カルロ』『運命の力』など各地で多数のオペラに出演。また、NHK-FM『名曲リサイタル』、NHKニューイヤーオペラコンサートに2017年から連続出演、K-BALLET COMPANYや東京フィルハーモニー交響楽団の『第九』など各種コンサートに出演している。NHK「ららら♪クラブ」人気投票であなたの好きな日本人オペラ歌手男女通じて第1位を獲得。

類まれなる“声”と恵まれた舞台姿を兼ね備えた、文字どおりのプリモ・テノールである。第20回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。湯沢町特別観光大使。藤原歌劇団団員。



ピアノ
藤本 史子

九州女学院高校（現ルーテル学院）を卒業後、国立音楽大学ピアノ科卒業。ピアノ、室内楽を吉川由三子、小池和子、上田晴子の各氏に、スイスレイク国際音楽アカデミーにてアドリアンコックス氏に師事。

これまでに幾多の音楽コンクールで入賞。2008年国際ピアノ伴奏コンクール優勝。2009年日本ピアノ歌曲伴奏コンクール優勝。NHK交響楽団、九州交響楽団をはじめとするプロオーケストラメンバーや、国内外の著名な演奏家と全国各地で共演を重ね信頼を得ている。日本フィルソロコンサートマスター木野雅之氏や、コントラバス奏者深澤功氏（現九響音楽主幹）等とのCD・DVDも多数リリース中。又、ラズモフスキー四重奏団や東京ベートーベンカルテット、との共演やスコットランドDG地球救援音楽祭、球磨川音楽祭、みおつくし音楽祭、八女おりなす音楽祭等に出演。

現在、アンサンブルピアニストとして、東京、九州を拠点に様々なジャンルのコンサートを企画・出演し、地元熊本でもKMA（熊本ミュージックアーティスト）をはじめとする、共演者多数とコラボしながら、熊本地震後、学校、病院などの慰問演奏等も行っている。熊本県文化懇話会会員。

オフィシャルサイト <http://www.fujimotofumiko.com>



ヴァイオリン
原 雅道

国立音楽大学卒業と同時に新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。室内楽の演奏会などにも多数出演。他のプロオーケストラ及び室内合奏団のゲストコンサートマスター、ゲストトップ奏者として多数招かれている。

クラシック音楽以外の活動も多く様々なジャンルのアーティストとのCDレコーディングやライブ活動、及びTV、映画音楽やコマーシャル等のスタジオワークに参加。

服部克久率いる東京ポップスオーケストラメンバー。また各地の大学、市民オーケストラや後進の指導にも当たる。

ヴァイオリンを諏訪晶子、徳永二男、室内楽をヘルムート・バルト、デイビット・テイラーの各氏に師事。

2007年1月より九州交響楽団アシスタントコンサートマスター。2012年4月より九州交響楽団アシエートコンサートマスターとしてコンサートマスター、セカンドヴァイオリントップ、アシスタントコンサートマスターと三役を務めている。

Staff

語	り	小出 史
舞	台 監 督	山辺 二郎
録	音	音楽工房 上野 敬
音	響・照明	熊本県立劇場
ピ	アノ 調 律	ピアノハーブ社
会	場 装 飾	Flower Fine bits & bobs
ハ	ア メ イ ク	中村貴美子
衣	装	渡邊 泉
髪	飾 り	鍋島 聖子（摘まみ細工）
カ	メ ラ	増村 和好
撮	影	松崎敬一郎
楽	屋 ス タ ッ プ	瀬上 千穂
制	作 協 力	Comodo arts project

